

# 城山公園ふれあいの森ゾーンの再整備 について

令和3年2月

1

都市整備部 公園緑地課  
文化スポーツ振興部 スポーツ課  
教育委員会 家庭・地域学びの課

# 城山動物園の課題

## ■ 施設課題

- ・動物園の存続を求める意見が多いものの老朽化が著しい
- ・駐車場が少ない
- ・酷暑日や雨天時などに遊べる場所がない
- ・授乳施設は無く、売店、飲食、休憩施設が不十分

老朽化した獣舎



快適とは言えない休憩施設



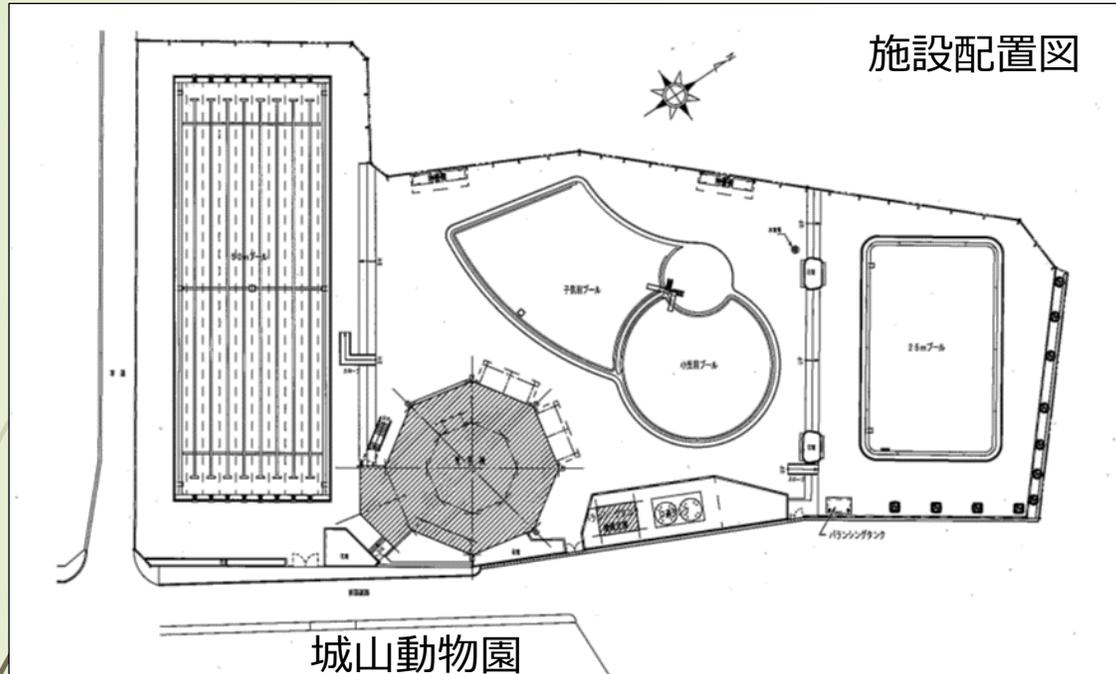
人気のバッテリーカー



## ■ 施設概要

建設年 S46.5 (49年経過)  
敷地面積 15,100㎡  
展示動物 29種 226点 (R2.7)  
遊具 大型遊具3基ほか  
利用者数 約26万人

# 城山市民プールの課題



## ■ 施設課題

- ・老朽化により、設備の稼働時にプールの配管等から漏水が発生  
1日約 $30\text{m}^3 \sim 40\text{m}^3$ の漏水
  - 年間営業日数60日 $\times 35\text{m}^3/\text{日} = 2,100\text{m}^3/\text{営業日}$ (R元)
- ・漏水箇所が不明なため、修繕には、ポンプ室の解体、ろ過タンク、循環ポンプ等の撤去が必要となり、多額の改修費が見込まれる

## ■ 施設概要

建設年 S46.5 (49年経過)  
 敷地面積  $5,435\text{m}^2$   
 水面面積  $1,449\text{m}^2$   
 更衣室等面積  $327\text{m}^2$   
 プール概要 50m、25m  
                   子供用、小児用  
 利用者数 11,000人



# 少年科学センターの課題



## ■ 施設課題

近年は、小中学生よりも幼児の利用が多くなっており、本来の目的と利用者にズレが生じてきている

近年の科学技術の進歩は著しく、最新情報の展示や更新への対応が難しい

## ■ 施設概要

建設年 S 60.7 (35年経過)

1 F 面積 1,542㎡ B F 面積 1,865㎡

利用者数 108,000人

利用者内訳 幼児30% 小中学生25% 一般44%

## 設置目的

自然科学及び近代科学技術に関する資料を収集・展示し、少年の科学に対する知識の啓発及び向上を図る



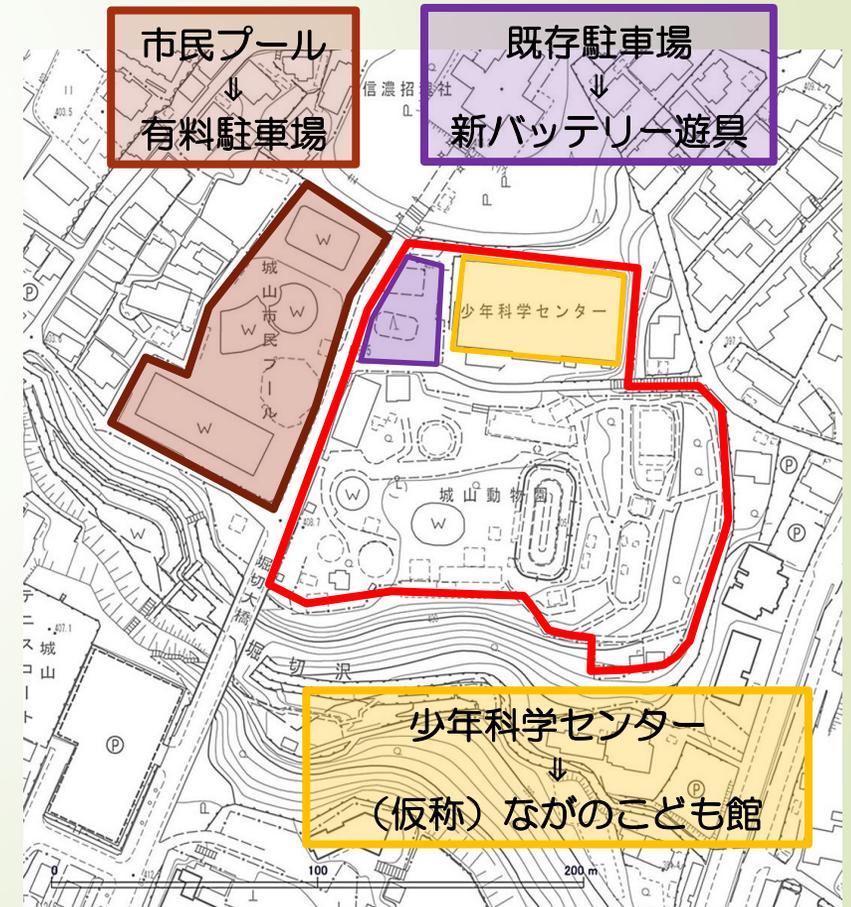
# ふれあいの森ゾーン再整備の方針と概要

## 再整備方針

人気の高い城山動物園の改修を核として、少年科学センターと城山市民プールを、子育てファミリー層が天候に左右されずに安心して過ごせる環境へと転換を図る。

## 再整備概要

- (仮称) ながのこども館  
動物園と一体となった全天候型の遊具施設  
科学に関する展示物の活用と継承を検討  
授乳室やおむつ替えに対応した施設は無料化
- 駐 車 場  
駐車台数は普通車など180台程度  
有料化（立体駐車場と城山庁舎跡地駐車場も同時に）  
子育て世帯に配慮した料金設定を検討
- 新バッテリー遊具  
対象年齢を上げたバッテリーカーの導入



# ふれあいの森ゾーン再整備 概略スケジュール

概略スケジュール	R 3年度	R 4年度	R 5年度
城山動物園	動物園再整備 基本構想	新バッテリー遊具 設計・整備工事	動物園再整備 基本計画
少年科学センター ↓ (仮称) ながのこども館	基本計画・設計	整備工事 (～9月)	
市民プール ↓ 有料駐車場	プール解体工事 (9月～3月) 駐車場設計	駐車場整備工事 (4月～9月) * 御開帳時暫定利用	